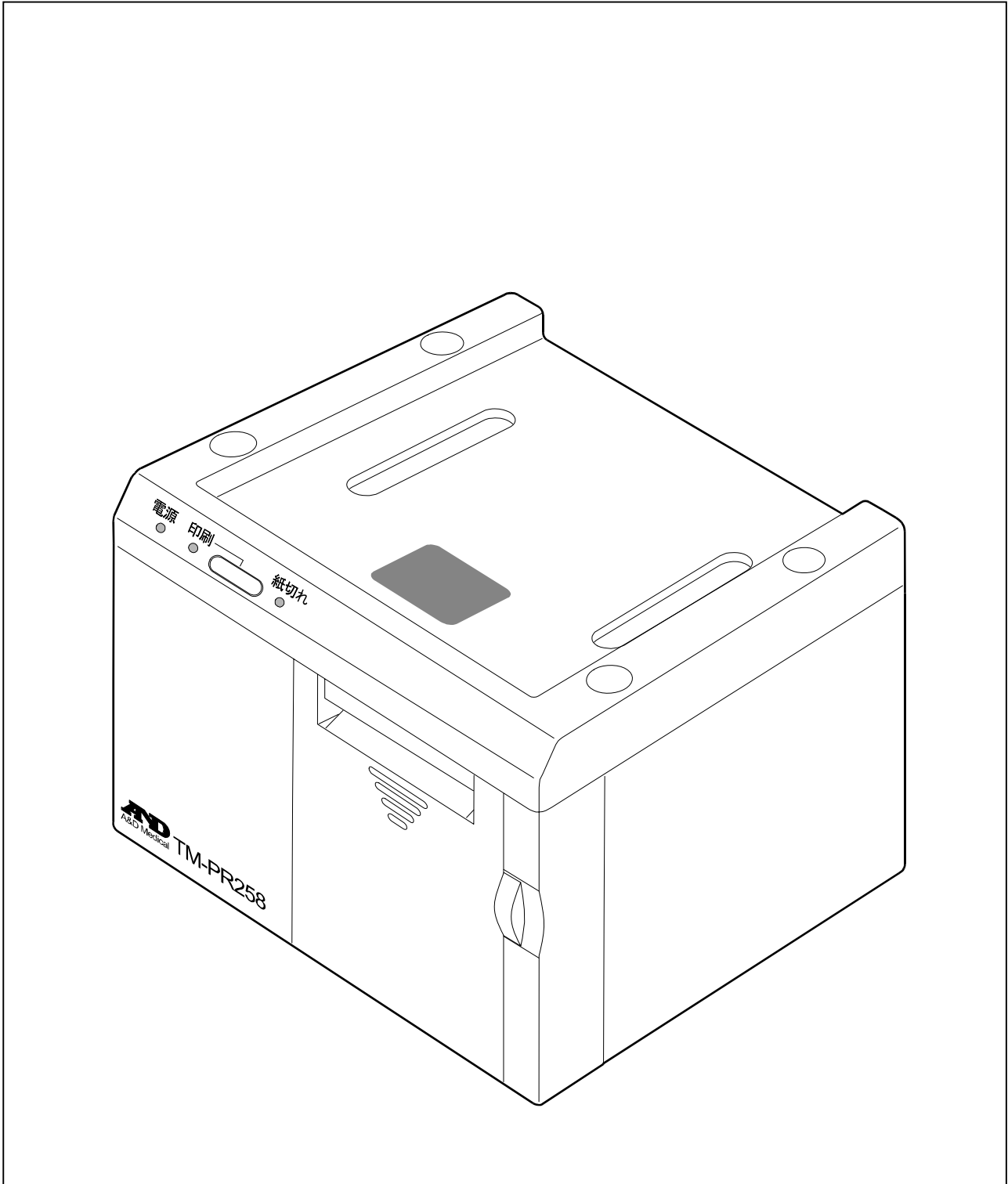


TM-PR258

プリンタ

## 取扱説明書



## ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り記載漏れなど、お気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 当社では本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

© 2007 株式会社 エー・アンド・デイ




株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

本書に記載されている商品名及び社名は日本国内または他の国における各社の商標または登録商標です。




# 注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

## 警告サインの意味

 <b>危険</b>	この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
 <b>警告</b>	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

## 図記号の意味

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が記されています。
	⊘記号はしてはいけないこと（禁止）を示しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文書や絵で示します。左図の場合「分解禁止」を示します。
	●記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに文書や絵で示します。左図の場合「守っていただきたいこと」を示します。

## その他


<b>お知らせ</b>	機器を操作するのに役立つ情報です。
-------------	-------------------


この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

# 使用上（安全および危険防止）の注意事項

プリンタ（TM-PR258）を正しく安全にお使いいただくために、以下の注意事項を熟読された上でお取扱ってください。この注意事項は、機器の安全な取扱いの他、患者および操作者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用前に本取扱説明書をご一読ください。

## 1. 機器の設置場所および保管場所は、次の点に注意してください。

<b>⚠危険</b>	
	■ 可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本機を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。

<b>⚠注意</b>	
	■ 水のかからない場所。 ■ 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオン分などを含んだ空気にさらされない場所。 ■ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などのない安定した場所。 ■ 化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。 ■ 設置：温度 +10°C～+40°C、湿度 30%～85%RH（結露なきこと）の場所。 ■ 保管：温度 -20°C以下 / +55°C以上、湿度 95%以上の場所に保管しないこと。 ■ 通気性のため、周囲に空間のとれる場所。 ■ 機器の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。

## 2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。

<b>⚠️ 注意</b>	
<b>!</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 機器が安全かつ正確に動作すること。</li><li>■ すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続されていること。</li><li>■ 他の機器との併用は正確な診断を誤らせたり、危険をおこす恐れがあるので、接続の際は安全性を再点検すること。</li><li>■ 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。</li><li>■ 当社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないでください。</li><li>■ 付属品やオプション品に添付された取扱説明書も熟読してからご使用ください。本書にはそれらの注意事項は記載していません。</li><li>■ 安全に正しく使用するために始業前点検を必ず行うこと。</li><li>■ 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。</li></ul>
<b>⊘</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 血圧計専用電源に指定の血圧計以外は接続しないこと。</li></ul>

## 3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

<b>⚠️ 警告</b>	
<b>⊘</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 周辺で携帯電話を使用しないこと。誤動作の原因になります。</li></ul>

<b>⚠️ 注意</b>	
<b>!</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 強磁界および強電界中では使用しないこと。</li></ul>




## 4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

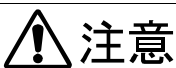

<b>⚠️ 注意</b>	
<b>!</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、電源を切ること。</li></ul>
<b>⊘</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ ケーブル類を取り外すときは、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。</li></ul>
<b>!</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 付属品等は清掃した後、整理し保管すること。</li><li>■ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。</li></ul>

## 5. 機器が異常と思われたときは、次の処置をしてください。



<b>⚠️ 警告</b>	
<b>!</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 患者の安全を確保すること。</li><li>■ 機器の動作を止め、電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜くこと。</li><li>■ 機器に、「故障」「使用禁止」等の表示を行い、速やかに弊社 ME 機器相談センターまでご連絡ください。</li></ul>

## 6. 保守点検については次の点に注意してください。

 <b>警告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ お手入れの際は、感電防止のため、本機の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。</li><li>■ しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。</li><li>■ 安全に正しく使用するため、始業前点検、保守点検は必ず行ってください。始業前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 本機の分解、および改造はしないでください。</li></ul>

 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 手入れの際は乾燥した柔らかい布を使用すること。シンナー、ベンジン等揮発性の液体やぬれ雑巾等は使用しないこと。</li></ul>

## 7. 強い電磁波により誤動作を起こすことがありますので注意してください。

 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 本機は、周囲に強い電磁波などが存在すると、波形に雑音が入り混入したり、誤動作を起こすことがあります。機器の使用時、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。</li></ul> <p>次に一般的な原因と対策の一例をあげます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 携帯電話等の使用 電波によって予期せぬ誤動作をする可能性があります。<ul style="list-style-type: none"><li>□ 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器などの電源を切るよう指導する。</li></ul></li><li>■ 電源コンセントを伝って、他の機器から高周波雑音が入った場合<ul style="list-style-type: none"><li>□ 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置などにより対策する。</li><li>□ 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。</li><li>□ 他の電源コンセントから電源を取る。</li></ul></li><li>■ 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電）<ul style="list-style-type: none"><li>□ 装置を使用する前に、測定者、患者とも十分に放電を行う。</li><li>□ 部屋を加湿する。</li></ul></li><li>■ 落雷などによる影響 近くで雷が発生したときは、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。このような場合は次の方法で機器を動作させてください。<ul style="list-style-type: none"><li>□ 無停電電源装置（JIS T0601-1 を満足している機種）を使用する。</li></ul></li></ul>

# 開梱

## ⚠注意



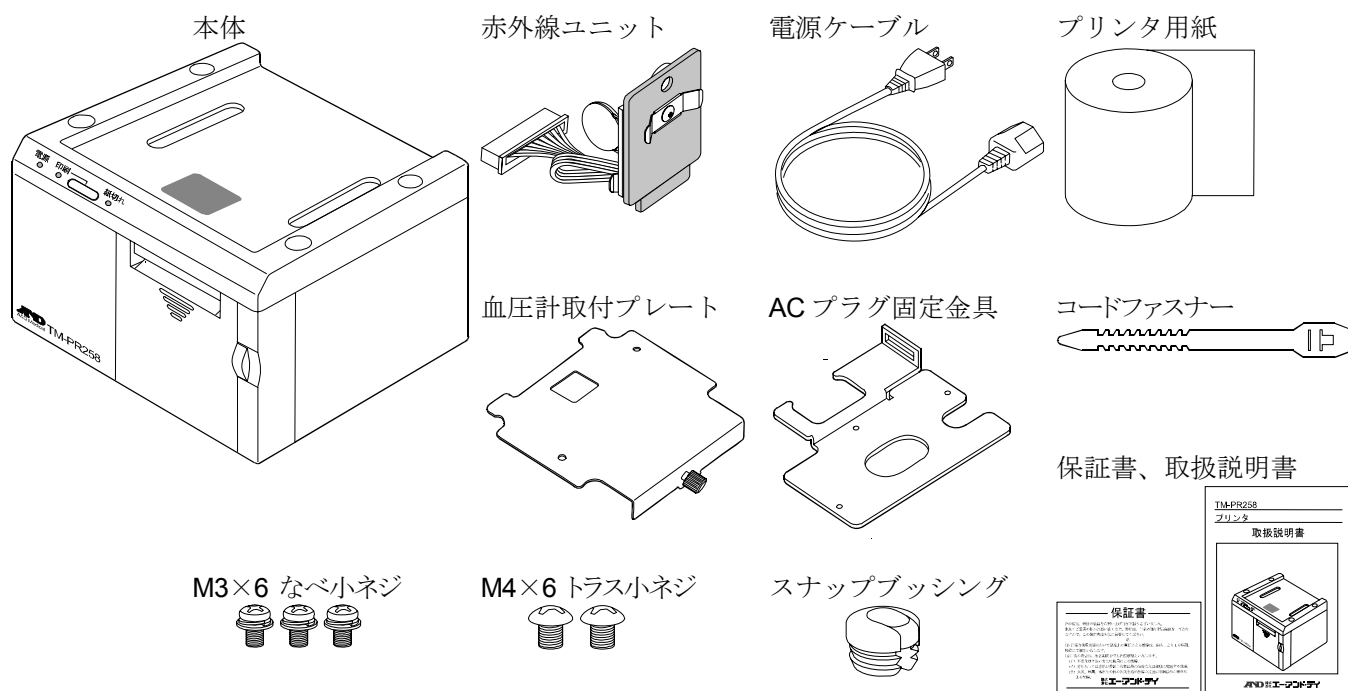
- 本機は、精密機械ですので丁寧に扱ってください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。

## お知らせ

- 本機は、輸送中の損傷を防ぐため特別に設計された梱包箱に入れて出荷されていますが、開梱時には製品が損傷していないかご確認ください。万が一損傷している場合は販売店に連絡してください。なお、将来本機を輸送する場合は梱包材を保管しておいてください。

ご使用前に付属品がそろっていること、本体と各付属品に損傷がないことを確認してください。  
 万一、内容物に不足がございました場合には、お買い求め頂いた販売店または弊社営業所にお問い合わせください。  
 オプション品は「9.アクセサリ」を参照してください。

本体 .....	1
標準付属品	
赤外線ユニット .....	1 個
電源ケーブル .....	1 本
プリンタ用紙 .....	1 巻
血圧計取付プレート .....	1 個
ACプラグ固定金具 .....	1 個
コードファスナー .....	1 個
スナップブッシング .....	1 個
M3×6 なべ小ネジ .....	3 個
M4×6 トラス小ネジ .....	2 個
取扱説明書(本書) .....	1 冊
保証書 .....	1 枚



# 目次

1.	はじめに.....	2
2.	特長.....	2
3.	略語・記号の解説.....	2
4.	仕様.....	2
5.	各部の名称.....	3
5.1.	正面図.....	3
5.2.	背面図.....	3
5.3.	上面図、側面図.....	4
6.	使用前の準備.....	4
6.1.	バイタルノートの準備.....	4
6.2.	バイタルノートの取付.....	5
6.3.	プリンタ用紙の取り付け.....	6
7.	印刷.....	7
7.1.	印刷例.....	7
7.2.	コメント付の印刷.....	7
8.	保守.....	8
8.1.	保守点検と安全管理.....	8
8.2.	清掃.....	8
8.3.	清掃.....	9
9.	アクセサリ.....	9
10.	アフターサービス・保証.....	10
10.1.	保証期間.....	10
10.2.	免責事項.....	10
10.3.	製品に関するご質問・ご相談窓口.....	10

# 1. はじめに



このたびは、エー・アンド・デイのプリンタ(TM-PR258)をお買い求めいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、プリンタ (TM-PR258)の接続、設定、ならびに、保守、仕様について記述したものです。本機をご理解いただき、十分にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られる所に大切に保管してください。

# 2. 特長

プリンタ(TM-PR258)は、バイタルノートシリーズ(TM-2580/TM-2581)との赤外線通信により、バイタルノートで測定した血圧値、リストデータ等を印刷することが可能であり、以下の特長があります。

- 血圧計本体を本機の上部に重ね置きすることで設置面積を最小限に抑えられます。
- 血圧計との通信は赤外線通信を採用。ケーブル接続をなくし電氣的絶縁を確保しています。
- オートカッター付で、用紙交換が簡単です。

# 3. 略語・記号の解説

記号(シンボル)	解説
	注意記号：添付文書、取扱説明書を参照。
	使用説明書参照のこと

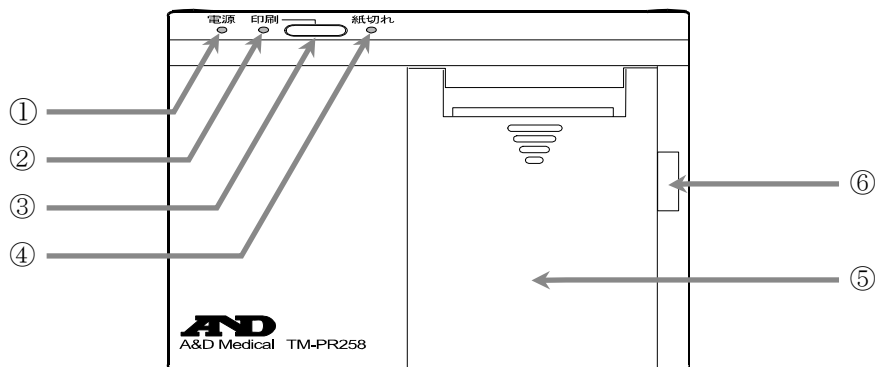
# 4. 仕様

印字方式	直接感熱式
ヘッド構成	432 ドット/ライン
有効印字幅	54mm
解像度	8 ドット/mm
平均印字速度	最大 28 mm/秒
紙送り速度	最大 30 mm/秒
用紙幅	58 mm
外形寸法	177 mm(W) × 123 mm(H) × 150 mm(D) 突起部を除く
重量	約 1.8 kg
電源	AC100V (50/60Hz)
消費電力	最大 25 VA 以下
使用環境	温度： +10℃ ~ +40℃、 湿度： 30%RH ~ 85%RH (結露なきこと)
保存環境	温度： -20℃ ~ +55℃、 湿度： 95%RH 以下 (結露なきこと)
販売名	プリンタ
型名	TM-PR258



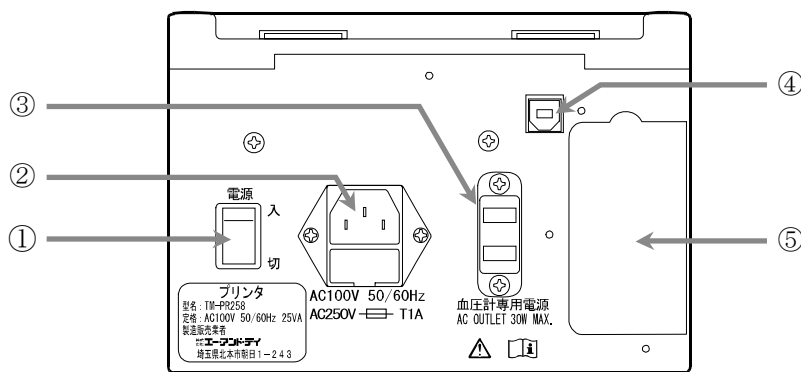
## 5. 各部の名称

### 5.1. 正面図



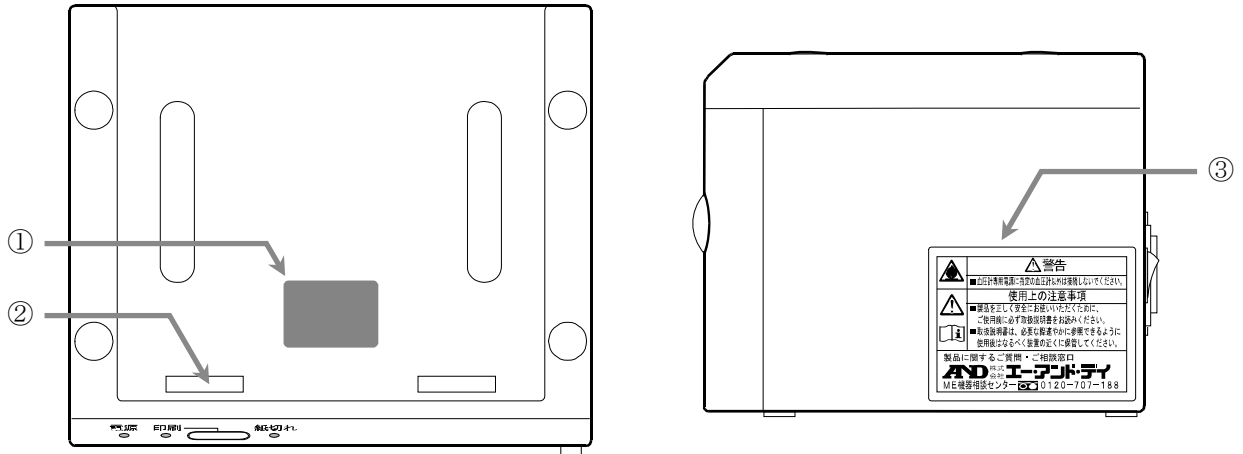
番号	名称	説明
①	電源ランプ	電源が供給されているときに点灯します。 また、以下の状態により色が変化します。 血圧計通信中 : 緑色 待機中(血圧計未接続) : 橙色 エラー発生 : 赤色
②	印刷ランプ	印刷中に点灯します。
③	印刷スイッチ	印刷を開始します。 印刷中は印刷を停止します。
④	紙切れランプ	プリンタ用紙が無くなると点灯します。 プリンタ用紙カバーが開いている場合は点滅します。
⑤	プリンタ用紙カバー	プリンタ用紙のカバーです。
⑥	プリンタ用紙カバーオープンボタン	プリンタ用紙のカバーを開いて、用紙を取り付けます。

### 5.2. 背面図



番号	名称	説明
①	電源スイッチ	本体電源の入切をします。
②	電源インレット(ヒューズホルダー付)	電源コードを接続します。
③	血圧計専用電源	バイタルノートの電源コードを接続します。 弊社指定の血圧計以外は接続しないでください。
④	オプション用 USB コネクタ	メンテナンスに使用します。 接続については弊社 ME 機器相談センターへお問い合わせください。
⑤	AC アダプタ収納スペース	バイタルノートの AC アダプタを収納します。

## 5.3. 上面図、側面図



番号	名称	説明
①	赤外線通信ポート	赤外線通信によりバイタルノートからデータを取得します。
②	取付金具固定部	バイタルノートを、専用の取付金具により取り付け固定します。
③	警告ラベル	警告ラベルが剥がれている場合は弊社営業所までご連絡ください。

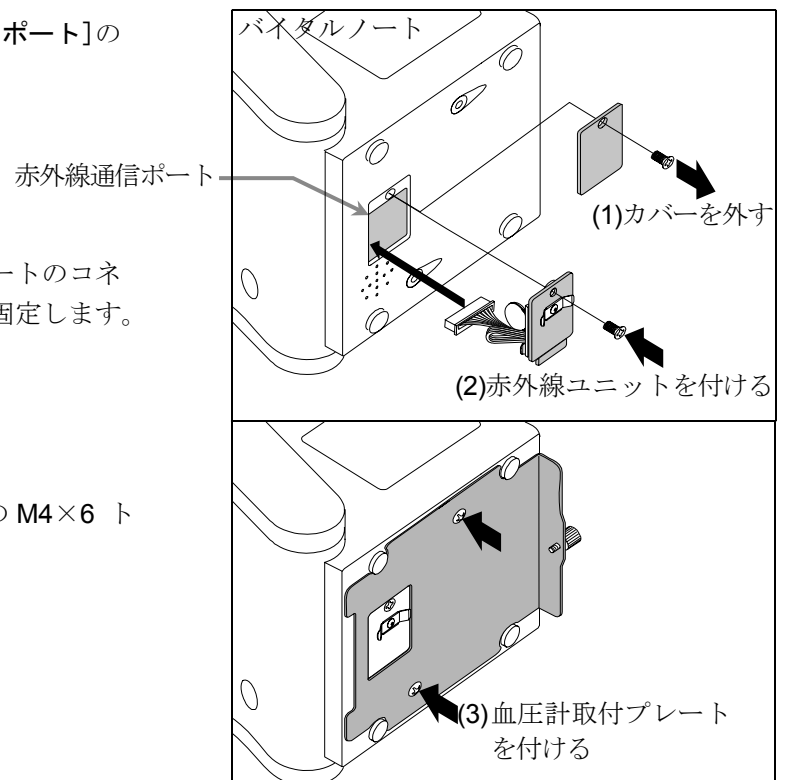
## 6. 使用前の準備

### 6.1. バイタルノートの準備

- (1) バイタルノート裏面にある[赤外線通信ポート]のカバーを外します。

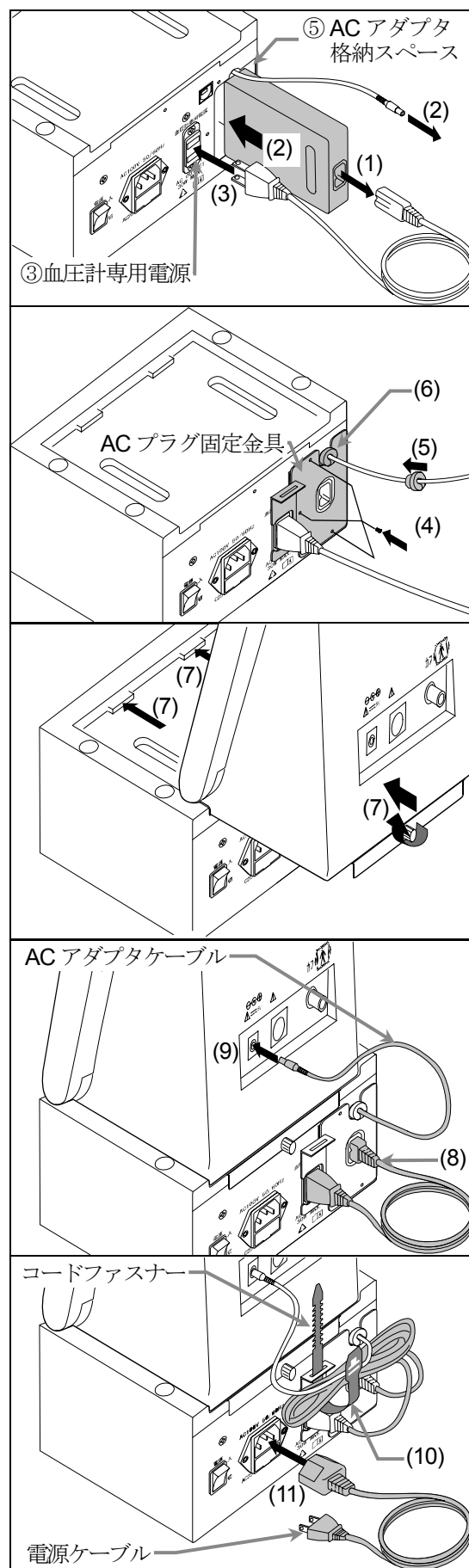
- (2) 付属の[赤外線ユニット]をバイタルノートのコネクタに接続し、(1)で取り外したネジで固定します。

- (3) 付属の[血圧計取付プレート]を、付属の M4×6 トラス小ネジ 2 本で取り付けます。



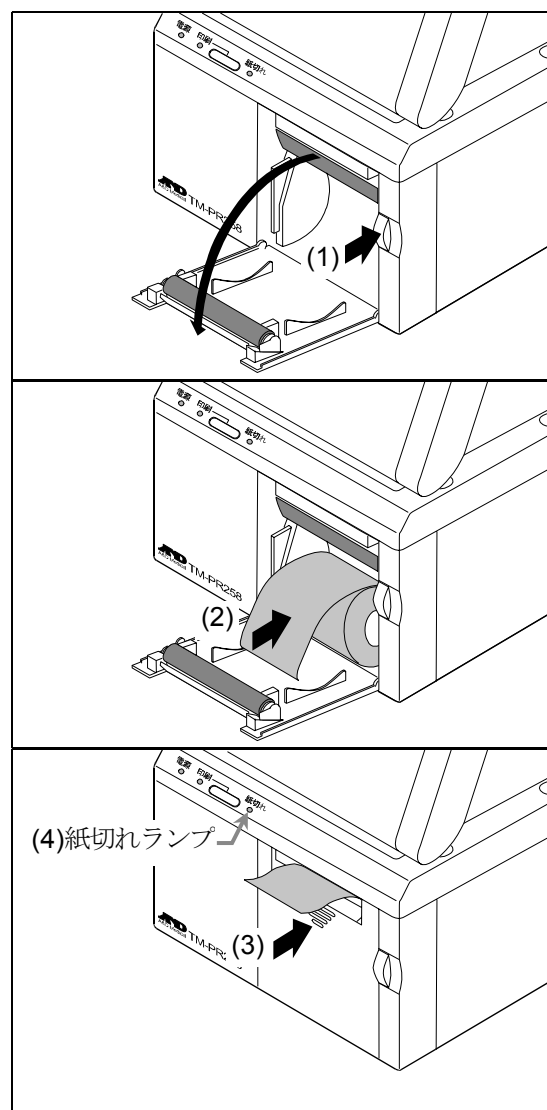
## 6.2. バイタルノートの取付

- (1) ACアダプタの電源ケーブルを抜いてください。
- (2) バイタルノートのACアダプタを、右図の向きで⑤[ACアダプタ格納スペース]に格納します。
- (3) (1)で抜いたACアダプタの電源ケーブルを③[血圧計専用電源]に差し込みます。
- (4) 付属の3個のM3×6なべ小ネジを用いて[ACプラグ固定金具]を取付ます。
- (5) 付属の[スナップブッシング]を、切れ目に沿って、ACアダプタの電源ケーブルに取り付けます。
- (6) [スナップブッシング]を、[ACプラグ固定金具]に取り付けます。右図の位置で押し込み、固定します。
- (7) バイタルノートをプリンタ(TM-PR258)に取り付けます。血圧計取り付けプレートの固定用ネジで確実に固定してください。
- (8) ACアダプタの電源ケーブルとACアダプタを接続します。
- (9) ACアダプタの電源ケーブルをバイタルノートと接続します。
- (10) 付属の、[コードファスナー]を用いて、[ACプラグ固定金具]に、ケーブルを整理、固定します。
- (11) 付属の、[電源ケーブル]を、本体に差し込みます。ご使用前には、[電源ケーブル]をコンセントに差し込み、本体の電源をONにしてください。



## 6.3. プリンタ用紙の取り付け

- (1) [プリンタ用紙カバーオープンボタン]を押して、プリンタ用紙カバーを開けてください。
- (2) プリンタ用紙を、右図の向きで中のくぼみにセットします。
- (3) 用紙の端を上側に持ち上げた状態で、「カチッ」と音がするまでプリンタ用紙カバーを閉め、プリンタ用紙を固定します。  
完全に閉じられていない場合は、紙詰まりの原因となります。
- (4) [紙切れランプ]が消灯していることを確認してください。



### お知らせ

- 記録紙の装着方向を間違えると、印字されません。
- 記録紙は残り 1m になると両端に赤線が出てきますので指定の記録紙と交換してください。
- 記録紙は感熱ペーパーを使用しています。変色したり、印字が退色したりしますのでご注意ください。
  - 変色されるものの例  
糊、有機溶剤を含むサインペン、接着剤。
  - 退色させるものの例  
蛍光ペン、テープ、保存するときの透明ケース、下敷き、日光、紫外線
- 上記の理由により、測定結果を保存する場合はコピーを取って保存してください。
- 記録紙は弊社の純正品をご使用ください。純正品以外を使用した場合、印字が薄くなったり、紙詰まり等の故障の原因となります。

## 7. 印刷

以下は、バイタルノートを接続した場合の印刷例です。

- 印刷の出力結果は、機種によって異なる場合があるため、詳細はバイタルノート本体の取扱説明書をご参照ください。

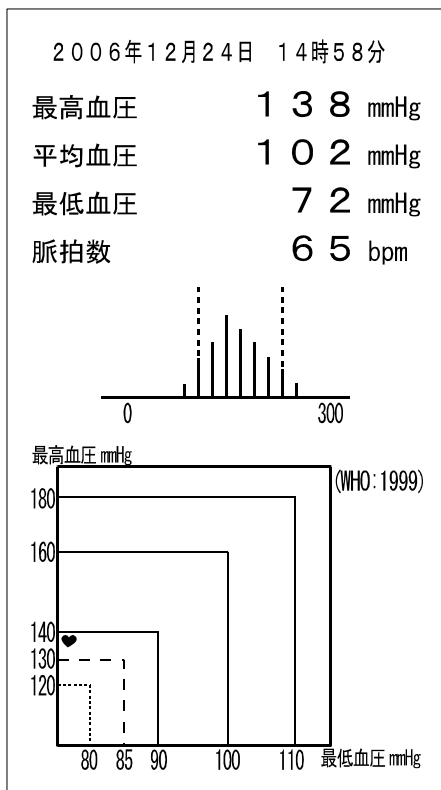
### ⚠ 注意



- プリンタ用紙を印刷中に引っ張ったり、乱暴に切り取るとプリンタヘッドを損傷する恐れがあります。

### 7.1. 印刷例

- 印刷データは、接続したバイタルノートより送信された出力データを印字します。



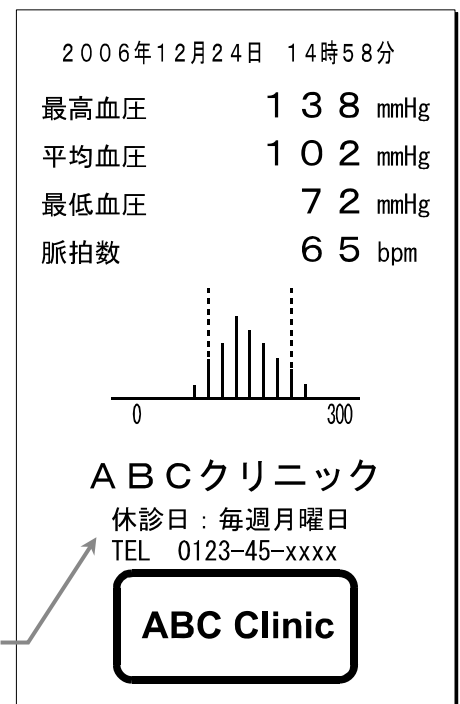
2007年 6月 1日

時刻	最高血圧	平均血圧	最低血圧	脈拍数
	<-- mmHg			--> (bpm)
14:59	142	86	76	82
15:08	182	96	76	82

### 7.2. コメント付の印刷

- プリンタ(TM-PR258)は、あらかじめ印刷イメージを登録することにより、印字結果にコメントを付随することが可能です。詳細につきましては、別途 販売店、もしくは弊社 ME 機器相談センターにご相談ください。

コメント例



## 8. 保守

### 8.1. 保守点検と安全管理

本機は必要時にその有する機能が十分に発揮され、しかも患者ならびに操作者の安全が確実に保たれているように管理がされなければなりません。「始業前点検」などの日常点検管理については操作者によってなされるのが原則となります。

本機の始業前点検などの日常管理は、本機の性能および安全性、有効性を維持するために保守管理する必要があります。

弊社では、1年に1回の定期点検をお勧め致します。

### 8.2. 清掃

#### 注意



- 清掃を行う際は、必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
  - 機器に水をかけたり、水につけての清掃は絶対行わないでください。
  - 本機の殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（EOG、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。
  - シンナー、ベンジンなどの溶剤を用いて清掃しないでください。
- 機器の清掃は病院の定めた方針や手順をもとに、1ヶ月に1回程度、以下のように行ってください。

#### 本体

機器外装の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

清掃するときは、水にうすめた中性洗剤又は、消毒用アルコールを使用してください。

血液、薬剤、汚物などが付着した時は、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で清拭し、除去してください。

## 8.3. 清掃

修理を依頼される前に、下記のチェック表に該当する現象がないかお確かめください。

これらの対処にもかかわらず、現象が再現する、或いは改善されない場合は、弊社 ME 機器相談センターにお問い合わせください。

現象	確認内容
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 電源コードは正しく接続されていますか？</li><li>■ コンセントは所定電圧が供給されていますか？</li></ul>
本体が熱くなる	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 側部、後部に物が置いてありませんか？</li></ul>
印字できない	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 電源スイッチは入っていますか？</li><li>■ バイタルノートの電源は入っていますか？</li><li>■ 紙切れランプが点灯していませんか？</li><li>■ 電源ランプが赤色に点滅していませんか？ 点滅している場合、以下を実施してみてください。<ul style="list-style-type: none"><li>□ プリンタ用紙カバーの開閉。</li><li>□ 電源の入り切り。</li></ul></li></ul>

## 9. アクセサリ

品名	型式
プリンタ用紙 (5巻入り)	AX-PP147-S

## 10. アフターサービス・保証

本製品、付属品およびオプション品は日本国内での使用を目的とし、保証は日本国内のみ有効といたします。

### 10.1. 保証期間

取扱説明書、ラベルの注意事項にしたがった正常な使用状態で、保証期間は下記のとおりです。

- 本体 ..... ご購入より 12 ヶ月

### 10.2. 免責事項

下記の記載内容については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- 当社、または当社が指定した業者以外による保守、及び修理に基づく故障・損傷。
- この取扱説明書に記載されている安全上の注意や操作方法を守らなかった結果による故障・損傷。
- この取扱説明書に記載されている電源、設置、保管環境など製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷。
- 適切な保守点検を怠っての使用による故障・損傷。
- 本体以外の付属品、消耗品の故障、交換。
- 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・損傷。
- 製品を改造あるいは、不当な修理をされた結果に基づく故障・損傷。
- 転倒、操作上のミスなど使用者の責任とみなされるもの。
- 火災、地震、水害、落雷など天災による故障・損傷。

### 10.3. 製品に関するご質問・ご相談窓口

- 弊社 ME 機器相談センターにお申し付けください。










## メディカル機器に関するご質問・ご相談・修理品 窓口

受付時間:月曜日～金曜日(祝日、弊社休業日を除く) AM9:00～PM5:00

**AND** 株式会社 **エー・アンド・デイ**  0120-707-188  
ME 機器相談センター

修理品の発送先

〒507-0054 岐阜県 多治見市 宝町9-19  
株式会社エー・アンド・デイ ME事業本部 FE課  
TEL. 0572-21-6644

**AND** 株式会社 **エー・アンド・デイ**

本社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14  
ダイハツ・ニッセイ池袋ビル

TEL. 03-5391-6127(直) FAX. 03-5391-6129

札幌出張所 TEL. 011-251-2753(代) FAX. 011-251-2759

仙台出張所 TEL. 022-211-8051(代) FAX. 022-211-8052

名古屋営業所 TEL. 052-701-5681(代) FAX. 052-701-5683

大阪営業所 TEL. 06-4805-1204(直) FAX. 06-4805-1201

広島営業所 TEL. 082-233-0611(代) FAX. 082-233-7058

福岡営業所 TEL. 092-441-6715(代) FAX. 092-411-2815

※電話番号、ファクシミリ番号は、  
2006年09月25日現在です。

※電話番号、ファクシミリ番号は、  
予告なく変更される場合があります。

※電話のかけまちがいにご注意ください。  
番号をよくお確かめの上、おかけください。

製造販売業者 株式会社エー・アンド・デイ  
〒364-8585 埼玉県 北本市 朝日1-243

製造業者 研精工業株式会社 つくば工場